

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ニューヨーク総領事館

記入日 2015年6月

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

資料名：新築住宅着工許可件数（連邦統計局）（ニューヨーク都市圏を選択可能。
また、金額ベースも選択可能。）（2015年5月）

URL：<http://www.census.gov/construction/bps/msamonthly.html>

資料名：ニューヨーク住宅価格指数（S&P Dow Jones Indices LLC）（2015年
4月）（以下のリンクからニューヨークのみを選択可能。）

URL：

<http://us.spindices.com/index-family/real-estate/sp-case-shiller>

2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	「パークアベニュー沿いのオフィスタワー再開発」：パークアベニュー沿いではここ30年程度、新しいオフィスビルの開発プロジェクトはなかったが、今般、55丁目と56丁目の間にある425パークアベニューの再開発事業にNYの大手デベロッパーであるL&Lホールディングス等と共同で東急不動産が参画。2006年にL&Lホールディングスが土地を取得して以降、リーマンショックもあり、長らく事業はストップしていたが、近年低下傾向にあるオフィス空室率と歴史的な低金利環境により、プロジェクトは大きく前進。2018年竣工予定。	6/2/2015 Wall Street Journal

2	<p>「日本の三井不動産がヘルズキッチンエリア（マンハッタン・ミッドタウンウェスト）におけるプロジェクトに参画」:日本でも最大の不動産会社のひとつである三井不動産がマンハッタン・ミッドタウンウェストのヘルズキッチンに位置する約3億3千万ドルの住宅建設プロジェクトに、現地企業であるタコニック・インベストメント・パートナーズ (Taconic Investment Partners) と共に参画（52丁目、10番街と11番街の間）。三井不動産は、全世界で約390億ドルの物件を運用しているが、NYでは1980年代から活動し続けている数少ない日系企業。本プロジェクトは、22階建てと14階建ての2棟から成り、392室供給され、そのうち80室は中間層向けとなる。2017年春までに竣工予定。</p>	<p>6/8/2015 Wall Street Journal</p>
3	<p>「55ハドソンヤードの最初のテナントが決定」:三井不動産アメリカ、リレイテッド(Related Cos.)及びオックスフォード・プロパティーズ・グループ(Oxford Properties Group)の共同事業により開発中の55ハドソンヤードの初のテナントとして法律会社(Boies, Shiller & Flexner LLP)が入居を決定。55ハドソンヤードは約14億ドルの開発プロジェクトで、NY市マンハッタンの地下鉄7番線の延伸等により交通の利便性が高まる場所(33丁目と34丁目の間、10番街と11番街の間)に位置し、マンハッタンウェストサイドにおける新たな賑わいの場所として注目されている。2018年竣工予定。</p>	<p>6/9/2015 Wall Street Journal</p>

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

該当なし